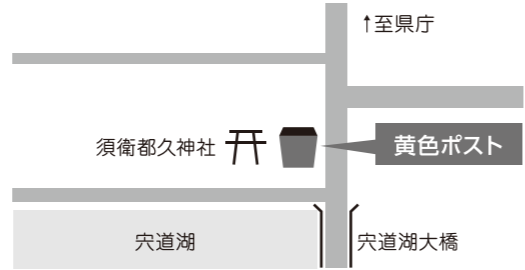


黄色いポスト回収状況

子どもたちにとって有害な図書類の回収ボックス「黄色いポスト」は、城西地区では須衛都久神社鳥居横に設置されています。
 平成28年2月末現在で書籍220冊、DVD45本を回収しました。
 なお、松江市内には黄色いポストが29カ所に設置されており、平成27年4月～12月末の回収状況は書籍4,115冊、ビデオ233本、DVD1,735本です。



～城西児童クラブの活動～

城西児童クラブは内中原小学校の1～3年生を対象に、内中原小学校内に第1、第2児童クラブを、そして城西幼保園西隣に第3児童クラブがあります。

第3児童クラブは、2年前に開設しました。

38名の児童と20～70代の指導員で放課後・長期休業中などに活動しています。土曜日は隔週で、内中原小学校にある第1児童クラブで活動しています。

日中家におられない家庭のかわりとなるよう、子どもも指導員も安心・安全を基盤に、楽しく過ごすように努めています。

室内遊びはもちろん、公民館にここ広場・旧末次保育所所庭・公園などで、鬼ごっこ・缶けりなど、昔ながらの遊びを通して、異年齢で一緒になって体を動かし、1人1人が気兼ねなく過ごせるようにとの思いを大切にしながら、集団も意識するよう関わっています。

公民館と関わる機会も多く、今年度は人権出前講座・交通安全教室に参加し、学習させていただきました。毎週月曜日に公民館にここ広場で開催されている放課後子ども広場でも一緒になって遊ばせてもらっています。

地域の中にある児童クラブを、今後ともよろしく願いいたします。

学校がある時

| | |
|-----------|-----------------|
| 放課後 | 学校から歩いて第3児童クラブへ |
| 15:30頃 | おやつ時間 |
| おやつ後・自由時間 | 自由遊び |
| 17:30 | 児童クラブへ戻る・片付け |
| 18:00～ | 延長 |



小学校からは歩いて30分程度かかります

一日開所時(平日)

| | |
|-------------|--------------------|
| 8:00 | 開所(8:00～8:30は自主事業) |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00～14:00 | 勉強 |
| 15:00 | おやつ |
| おやつ後・自由時間 | 自由遊び |
| 17:30 | 児童クラブへ戻る・片付け |
| 18:00～ | 延長 |



室内でも仲良く元気よく遊んでいます!

土曜日(登録者)

| | |
|-------|----------------|
| 9:00 | 第1児童クラブにて合同で開所 |
| 11:30 | 昼食 |
| 15:00 | おやつ |
| 17:00 | 延長はなし |



ザリガニを取りに天倫寺の池へ出掛けました

広報 いほえみ

第 29 号
平成28年3月
発行
城西公民館子ども育成部



子ども大人も夢中で体験～けん玉ワークショップ～(平成28年1月24日 子どもふれあい冬フェスタ2016)

地域でできること ～交通安全研修から

城西公民館 子ども育成部 部長 三上 康則

子どもたちが地域で健やかに育つためには、様々な視点から安心・安全を考えることが必要です。こうした子ども見守り活動の一つに交通安全の取り組みもあります。

先ごろ、冬フェスタ(子どもの冬遊び)の中で、「地域で考える子育て研修会」を行いました。テーマは小中学生の通学路を中心とした城西地区の交通安全とヒヤリハットマップづくりです。

当日は城西地区のきずなクラブ会員や民生児童委員、交通安全指導員の皆さん、小中学生の保護者、教員、交番職員等40名が参加、それぞれ身近な、(ヒヤリとした、ハットした)交通事情について、意見を交わしました。

あいさつ橋(月照寺橋)や砂子町の交差点は、中学生や高校生、高専生の自転車通学者や勤め人の往来も多く、内中原小中学生の集団登校班の列と交差し、車両間だけでなく、歩行者への注意も必要です。鷹匠丁の市道は通勤車両の抜け道となり、一中生の自転車登校が重なる時間帯は要注意です。また、夕刻の下校時には、一中生の自転車の並進も見られます。運転手の“はやる気持ち”は禁物です。

小学生の通学路は比較的交通量の少ないところ、歩道帯が確保されているところを使っていますが、雨降り時の傘をさしての歩行は、どうしても車道へのふくらみが見られます。特に国屋から黒田に抜けるとねり坂や合銀黒田宿舎から砂子交差点に向かっての市道は道幅も狭く、車両は徐行が求められます。

今回、参加者で確認した地域の通学路の危険箇所、要注意箇所に限らず、毎日の生活の中で、それぞれが交通安全意識を保ち、交通事故を防ぎ、子どもたちだけでなく、みんなが安心安全に暮らせる地域社会となるのが大切です。